

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	技術者倫理		
英文授業科目名	Engineering Ethics		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	高野倉 雅人		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
takanokura@is.kanagawa-u.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>科学技術の発展は、人間の生活レベルを向上させると同時に、社会の仕組みを変え、地球環境に影響を及ぼしている。科学技術を扱う技術者は、自らの行為が人間・社会・環境に与える影響を正しく認識し、公衆の健康と安全と福利とに貢献する義務を負う。本授業は、講義とグループワークとを通じ、技術者が負う責任を理解して、倫理的な問題に対処できる能力を養うことを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：藤本温、他「技術者倫理の世界」（森北出版）

【授業内容とその進め方】

技術者倫理に関する知識の修得を目的に次の1.~8.について講義し、知識の理解度をペーパーテストで確認する。実際に起こった事件・事故を調査し、その倫理的問題点を考察するレポート課題を与える。授業の後半では、レポートをもとに技術者倫理の観点から事件・事故の問題点をグループで議論し、発表する9.グループワークを行う。

1. 科学・技術と応用倫理学
2. プロフェッションとしての技術者
3. 倫理綱領
4. ケーススタディ - チャレンジャー号事故およびシティコープ・タワーの危機
5. 倫理的な問題の解決方法 - エシックステスト
6. 公益通報（内部告発） - 仮想事例ギルベイン・ゴールド
7. 企業倫理 - コンプライアンスとCSR
8. 安全性と許容可能なリスク
9. グループワークーディスカッションとディベート

講義については、授業後に復習をして内容を理解するよう努めてください。次の授業で理解度をペーパーテストにより確認します。グループワークについては、グループでの議論を充実させるために、予習と復習が必須です。グループのメンバーで協力して、議論を進めて発表の準備をしてください。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価方法：

- (1) ペーパーテスト(40%)
- (2) レポート(20%)
- (3) グループワーク(40%)

で評価する。

評価基準：以下の到達レベルを合格の最低基準とする。

- (1) 技術者が負う責任を説明できること（ペーパーテストで評価）
- (2) 倫理的問題の解決方法を使えること（レポートとグループワークで評価）
- (3) グループのメンバーと討論をして、いくつかの解決策を提案できること（グループワークで評価）

【オフィスアワー：授業相談】

質問などについては、授業後、または次の電子メールで受け付ける。

アドレス：takanokura@is.kanagawa-u.ac.jp

電気通信大学 平成20年度シラバス

【学生へのメッセージ】

急速に進歩している科学技術は、人類に恩恵をもたらしています。しかし原発事故や環境問題に代表されるように、科学技術の使い方を誤ると、人類や社会に危害を与える可能性があります。技術者の卵である皆さんは、社会に貢献する技術力を修得すると同時に、科学技術と人間・社会・環境との関係を理解し、人類に幸福をもたらす技術者となるための素養を身に付けて下さい。

【その他】